



介護老人保健施設  
グリーンビレッジ安行 広報誌

# ちゃぼひば

VOL.21 春号



～グリーンビレッジ安行からみえる風景～ 撮影：薬剤科 河野 浩行

“グリーンビレッジ安行”は明るく暖かい雰囲気の中でリラックスできる環境を提供いたします

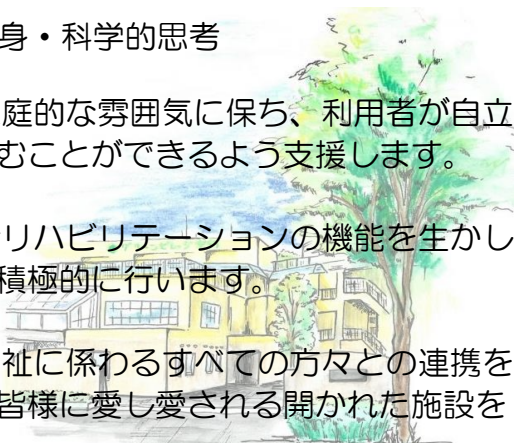
## 理念

人間の尊厳  
正義・博愛・献身・科学的思考

1.施設を明るく家庭的な雰囲気を保ち、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援します。

2.短期入所・通所リハビリテーションの機能を生かし、在宅ケア支援を積極的に行います。

3.介護・医療・福祉に係わるすべての方々との連携を密にし、地域の皆様に愛し愛される開かれた施設を目指します。



## Contents

○餅つき大会開催	2
○新入職員紹介	2
○大規模災害訓練	3
○施設内研修	3
○声のお便り	3
○キャラクター「ちゃぼぴー」誕生	4
○訪問リハビリテーションご案内	4

「ちゃぼひば」VOL.21

平成30年4月発行

発行責任者：立山佳子

編集・制作：情報管理・広報委員会

委員長：菅野圭子

委員：岡田亜有、野中幸、山下和宏、池田明子

阿部 澄、関根暁美、平山智経

## 餅つき大会開催

恒例行事となりました2月の餅つき。

昨年に引き続き、「入間川部屋」の磋牙司さん（36）と、宮乃富司（みやのふじ）さん（20）の2力士を招いて行いました。

力強い餅つきと、お二人の優しいお人柄に触れ、笑顔と歓声が溢れる素晴らしい1日となりました。

ご利用者からも「やっぱり本物は違うね」「大きくて力強い」等喜びの言葉をいただきました。

中には、昨年のことを覚えていて、今年の餅つきを心待ちにしていた方や、当日涙を流して喜ばれていた方もおり、これからもご利用者に喜ばれる恒例行事になるよう、来年度の行事企画に繋げていきたいと思ひます。

介護福祉士 久保 天翔



## 初めまして！ 新入職員紹介 よろしくお願ひします！



①氏名 ②職種・所属フロア ③趣味・特技 ④ひと言

- ①小宮 眞由美
- ②准看護師・2階フロア
- ③ナンプレ、ピース
- ④昨年定年になり働かせて頂く事になりました。よろしくお願ひします。



- ①片山 直子
- ②介護員・2階フロア
- ③読書
- ④まだ何も分かっていないので、いろいろご指導よろしくお願ひいたします。



- ①熊谷 千都
- ②介護助手・1階フロア
- ③バドミントン
- ④笑顔で楽しく積極的に学んでいきたいです。よろしくお願ひいたします。



- ①豊田 眞生
- ②介護助手・3階フロア
- ③茶道、琴曲、華道
- ④ご利用者に信頼されるよう頑張っていきたいです。



- ①奥津 麻友
- ②作業療法士・リハビリテーション科
- ③のんびり走ること
- ④最良のリハビリが提供出来るよう精一杯頑張ります。



- ①大橋 卓也
- ②理学療法士・リハビリテーション科
- ③映画鑑賞
- ④ご利用者の皆様の力になれるよう精一杯努めていきたいと思ひます。



## 巨大地震を想定した大規模災害訓練

訓練は午後1時半ころ、県南部直下型で震度6強の地震が発生し、施設内のライフラインには異常はなかったものの、ご利用者に傷病者が発生したと想定。当施設独自に作成した看護及び介護トリアージを行い、出来るだけ素早く且つ正確に進めることに重点を置いた。

また今回は戸田中央医科グループ戸田地区での連携訓練も同時に実施された。終了後、各部署より反省や活発な意見が多数あり、今後の訓練に活かしていければと訓練を重ねる必要性を再確認した。



総務課 瀧田 潤一

## 施設内研修



平成29年度グリーンビレッジ安行研究会を開催しました。今年度は、通所デイケアが「職員の関わりが利用者へ及ぼす影響」、3階認知棟が「認知高齢者の睡眠サイクルについて」、総務課が「職員の労務に関する意識の現状と今後の展望」といったそれぞれの特長性あるテーマで研究に取り組みました。

その成果を職員皆で共有し、活発な質疑応答もみられ、とても有意義な研究発表会になりました。

この学びを活かしてケアの質の向上に努めてまいります。

介護福祉士 鈴木美也子

## 声の お便り



グリーンビレッジ安行は老健です。多職種が集まってケアを行っています。各職種の紹介も兼ね、専門職からの声をリレー形式で皆様にお届けしています。

連載コラム、第4便はリハビリテーション科からの声をお届けいたします。

～ことばと食事～

今回は、声と食事のつながりについて話をしようと思います。

ご利用者様の中には、病気が原因でことばが言いつらくなることがあります。

頭の中では、しゃべろうとすることはわかっている、口が動かしづらい、声がかすれてしまう、呂律が回らない等、会話がしにくくなることがあります。これを構音障害と言います。では、この障害はどのようなことなのか。

声を出す為には、呼吸器、喉頭、声道を通り、ことばがつくられています。簡単に言うと、

①息を吸って吐く→②喉で声を出して→③口と鼻でことばを作るといった流れです。

私たちは、普段から何げなく色々な方と会話をしているとき、身体の様々な部分が動くことで声が出せているのです。

よく口の運動として「パタカラ体操」をやったことがあると思います。では、なぜあの言葉を言うのか？そこには、ちゃんと意味があります。

- ・「パ」→唇の動き : 唇を閉じて、こぼさない動きに関係する
- ・「タ」→舌の先の動き : 食べ物を押しつぶして、飲み込む動きに関係する
- ・「カ」→舌の奥の動き : 食べ物を食道へ運ぶ動きに関係する
- ・「ラ」→舌の早い動き : 食べ物を口の中に運んで、飲み込みやすくする動きに関係する

これを見ると、ことばと食べることには深い関わりがあることがわかります。

ことばと食べる事は常に隣合わせだと感じてもらえればと思います。これからもたくさんの方とお話をしたり、体操やリハビリに参加して、いつまでもおいしいものを食べ続けていきましょう。

言語聴覚士 阿部和人



グリーンビレッジ安行キャラクター誕生！

「ちゃぼぴー」

昨年末に「安行キャラクター」を全職員に募集したところ、4作品の応募がありました。

投票の結果、通所デイケア所属の高橋真里さんがイメージした「ちゃぼぴー」が選ばれました。作品の由来はグリーンビレッジ安行のシンボルの木「ちゃぼひば」と、ちゃぼひばの由来である「チャボ」を合わせ、「安行桜」の桜をポイントにしたそうです。これからグリーンビレッジ安行のマスコットとして多方面で活躍していきますので、どうぞよろしくお祈りします！

情報管理・広報委員長 菅野圭子



はじめまして！ちゃぼぴーです☆

みんな！これからよろしくね！実は…この広報誌「ちゃぼひば」のいろんなところにボクがいるんだよ！どこにいるか探してみてね！！



★訪問リハビリテーションのご案内★

当施設で訪問リハビリテーションを開設いたしまして、皆様のおかげにより1年が経ちました。

訪問リハビリテーションでは、ご利用者のご自宅に伺い、機能訓練や実際に家事動作や屋外歩行の練習等を行っています。また、福祉用具の導入のご相談や提案、ご家族への介護方法のアドバイス等も行っております。

もし、当施設を退所された後、ご自宅でリハビリを継続したい場合などでご希望がありましたら、ぜひ担当ケアマネジャーにご相談ください！

訪問リハビリテーション責任者 理学療法士 堀田智博



私がお伺いします！！



アクセス方法



≪ 施設送迎バス ≫

東川口駅 発 ~ GV安行

東川口駅	戸塚安行駅	GV安行
10:45	10:55	11:05
12:40	12:50	13:00
15:30	15:40	15:50

≪東川口駅停留位置≫

南口出口

≪戸塚安行駅停留位置≫

出入口3番



ご意見・ご感想をお寄せ下さい！

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。頂戴したご意見等は、今後の誌面に役立させて頂きます。皆様の声を広報局のメールアドレス [g\\_angyo18@tmg.or.jp](mailto:g_angyo18@tmg.or.jp) までお届けください♪



介護老人保健施設

グリーンビレッジ安行

〒334-0059 埼玉県川口市大字安行1145  
TEL：048-299-0018 FAX：048-299-0041  
ホームページ <http://gv-angyo.jp/>  
QRコードからもご覧になれます。→

